

温 泉 成 分 等 掲 示 表

1. 源泉名	湯河原101号泉		
2. 温泉の泉質	ナトリウム・カルシウム-塩化物泉・硫酸塩温泉（弱アルカリ性・低張性・高温泉）		
3. 源泉の温度	84.1℃	4. 温泉を公共の浴用に供する場所における温泉の温度	65℃
5. 温泉の成分（pH 8.34）	mg/kg		
陽イオン	陰イオン	非解離成分	その他微量成分
ナトリウムイオン 667	塩化物イオン 1110	メタケイ酸 127	アルミニウムイオン
カリウムイオン 45.0	炭酸イオン 1.07	メタホウ酸 14.4	マンガンイオン
マグネシウムイオン 0.65	臭化物イオン 3.21	メタ亜ヒ酸 0.0	鉄(Ⅱ)イオン
カルシウムイオン 209	ヨウ素イオン 0.0		鉄(Ⅲ)イオン
マンガンイオン 0.04	硫酸イオン 483		銅イオン
リチウムイオン 0.37	炭酸水素イオン 54.8		水酸化物イオン
ストロンチウムイオン 1.07	フッ化物イオン 0.59		チオ硫酸イオン
アルミニウムイオン 0.01	メタケイ酸イオン 6.29		メタ亜ヒ酸
	メタホウ酸イオン 2.24		遊離二酸化炭素
		溶存ガス成分	総成分
		遊離二酸化炭素 0.34	2.726 g / kg
6. 温泉の成分の分析年月日 / 平成26年 10月 3日	<p>12. 浴用の禁忌症 (1) 一般的禁忌症 病気の活動期（特に熱のあるとき）、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期</p> <p>13. 入浴上の注意事項 (1) 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。 (2) 過度の疲労時には身体を休めること。 (3) 運動後30分程度の間は身体を休めること。 (4) 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましいこと。 (5) 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。 (6) 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。 (7) 高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けること。 (8) 心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましい。 (9) 入浴開始後数日間は、1日当たり1～2回とし、慣れてきたら2～3回まで増やしてもよいこと。 (10) 入浴温度により異なるが、1回当たり、初めは3～10分程度とし、慣れてきたら15～20分程度まで延長してもよいこと。 (11) 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。 (12) 浴槽から出る時は、立ちくらみを起こさないようにゆっくり出ること。 (13) めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。 (14) 身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること。（ただし、肌の弱い人は、刺激の強い泉質や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合には、温泉成分等を温水で洗い流した方がよい。） (15) 脱水症状等を避けるため、コップ一杯程度の水分を補給すること。 (16) 温泉療養開始後おおむね3日～1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待つこと。 (17) 浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れないこと。</p> <p>14. 浴用の適応症 (1) 一般的適応症 筋肉又は関節の慢性的な痛み又はこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期）、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下（胃がもたれる、腸にガスがたまるなど）、軽症高血圧、耐糖能異常（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状（睡眠障害、うつ状態など）、病後回復期、疲労回復、健康増進 (2) 泉質別適応症 きりきず、末梢循環障害、冷え性、うつ状態、皮膚乾燥症</p>		
7. 登録分析機関の名称及び登録番号 神奈川県温泉地学研究所 / 神奈川県知事登録第1号			
8. 【加水の有無とその理由】 加水の有無： 有 / 入浴に適した温度に調整のため			
9. 【加温の有無とその理由】 加温の有無： 無 /			
10. 【循環ろ過の有無とその理由】 循環の有無： 無 / ろ過の有無： 無 /			
11. 【入浴剤の使用の有無及方法とその理由】： 無 / 【消毒の使用の有無及方法とその理由】： 無 /			
【温泉利用許可番号】 熱保総第3-3号			
【取得年月日】 平成5年10月27日			
【許可を受けた者】 熱海市泉231 ゆがわら大野屋株式会社			
【利用に供する場所】 熱海市泉231 「ゆがわら大野屋旅館」			

温泉成分揭示届を受理する

熱海温泉組合長 駒 嶺

